

利用者情報提供票

No1

様

居宅介護支援事業所名：

TEL

FAX

作成担当者氏名：

提出年月日：令和 年 月 日

フリガナ 氏名			住所 〒
生年月日	大・昭・平 年 月 日 ( 歳)		男 ・ 女 ☎
要介護認定	要支援 1 2 要介護 1 2 3 4 5	認定有効期間	~
寝たきり度	自立・J1・J2・A1・A2・B1・B2・C1・C2	認知症自立度	自立・I・IIa・IIb・IIIa・IIIb・IV・M 判定者
障がい等			
家族等 連絡先	① 氏名 続柄 ( ) ☎ 住所		
	② 氏名 続柄 ( ) ☎ 住所		
家族構成		介護の状況	
男性□女性○、本人 <input type="checkbox"/> ○、夫婦= 死亡者■●、同居者は点線で囲む		介護者	なし・あり 就労：
		氏名	様 続柄：
		介護の状況	常時・日中2～3時間・夜間
		特記事項	
生活歴			
現病歴等	病名： ※服薬管理：自立 一部介助 全介助		
医療の状況	主治医： ※特別な指示内容		
経済状況	年金（国・厚・共済・遺族）生保・その他（ ） 介護保険サービス費用等負担の意向（ 円位）		
住居の状況	自家・借家・公営住宅・その他（ ） 介護保険サービス費用等負担の意向（ ）		
生活の広がり	居宅・自宅内・外出あり（ ）		
介護保険 サービスの 利用状況	<input type="checkbox"/> 訪問介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> （看）小規模多機能 <input type="checkbox"/> 短期入所 <input type="checkbox"/> 通所リハビリ <input type="checkbox"/> 通所介護 <input type="checkbox"/> 福祉用具貸与・購入 <input type="checkbox"/> 住宅改修		

区 分		状 況	
食 事	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助		
	主食：米飯・お粥・その他（ ） 副食：常食・一口大・刻み・その他（ ）		
	咀嚼・嚥下状態：良・不良（ ） 一日の水分量（ c c/日） 使用具：スプーン・フォーク・箸・他（ ）		
口 腔	1. 問題なし 2. 問題あり ※義歯 有・無		
	不潔・炎症・虫歯・義歯不良・その他（ ）		
排 泄	尿	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助	
		トイレ・ポータブルトイレ・オムツ・リハパン・パット・その他（ ） 失禁：なし・あり 尿意：なし・あり	
	便	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助	
		トイレ・ポータブルトイレ・オムツ・リハパン・パット・その他（ ） 失禁：なし・あり 便意：なし・あり 便秘：なし・あり 下剤：なし・あり（薬名 頻度）	
入 浴	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助		
整 容	洗 面	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助	
	歯 磨 き	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助	
	爪 切 り	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助	
	髭 剃 り	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助	
更 衣	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助		
視 力	1. 普通 2. 大きい字は見える 3. 見えない ※眼鏡 有・無		
聴 力	1. 普通 2. 大声で聞こえる 3. 聞こえない ※補聴器 有・無		
移 動	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助		
	使用機器：車椅子・歩行器・杖・補装具・その他（ ）		
移 乗	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助		
座 位	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助		
立 位	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助		
コミュニケーション	1. 出来る 2. 何とかできる 3. 出来ない		
褥 瘡 等	1. なし 2. あり		
睡 眠	1. よく眠れる 2. 眠れる 3. 眠れない（夜間の状況： ） ※就寝薬 なし・あり（薬名）		
精神症状	1. なし 2. あり 記憶力低下・幻視・幻聴・幻覚・感情失禁・抑うつ・妄想・せん妄・徘徊・不潔・暴力暴言・抵抗・火の始末・食事の問題・昼夜逆転・その他（ ）		
IADL （手段的日常生活能力）	買物	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助（ ）	
	調理	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助（ ）	
	掃除	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助（ ）	
	洗濯	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助（ ）	
	金銭管理	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助（ ）	
	電話使用	1. 自立 2. 一部介助 3. 全介助（ ）	
《特記事項》			

## 【医療と介護連携手引き周知機関一覧】

R5年3月

No	医療機関・サービス事業所等	連絡先
1	(居) 紋別介護サービス	24-1318
2	(居) みんなと紋別ケアプラン相談センター	28-6111
3	(居) 紋別地域ケアプラン相談センター	28-5036
4	(居) コミュニティケアプラン相談室	27-5657
5	(居) みらいケアプラン相談室	24-1900
6	(居) 居宅介護支援事業所ほくしあ	26-2106
7	(居) かさいケアプラン相談室	28-5231
8	(居) 結ケアプランサービス	23-9990
9	(居) 夢ふうせんラポール 紋別事業所	28-5570
10	(GH) だんらん紋別落石館	26-4605
11	(GH) だんらん紋別みどり館	28-5751
12	(GH) はなぞの	26-2550
13	(GH) ライフインなごみ	26-2753
14	(GH) まごの手	23-0581
15	(小多) 小規模多機能ホーム はねだ屋	28-6070
16	(小多) 小規模多機能ホーム 夢ふうせんラポール	28-5570
17	(看小多) 看護小規模多機能ホーム ひなた	28-7171
18	(特養) 特別養護老人ホーム 安養園	24-4700
19	(老健) 介護老人保健施設 サン・ヒルズ紋別	26-2500
20	(医) 広域紋別病院	24-3111
21	(医) 幸栄病院	24-3365
22	(医) みなとクリニック	23-2032
23	(医) 曾我クリニック	23-6811
24	(医) 武田医院	23-2840
25	(医) 大原医院	23-3151
26	(医) 小林整形外科	23-6116
27	(医) 紋別市休日夜間急病センター	24-9955
28	(医) 紋別市立上渚滑診療所	25-2331
29		
30		

紋別市医療と介護の連携の手引き  
Ver.2 (令和5年4月)

企画 紋別市地域包括支援センター  
紋別市保健福祉部介護保険課  
〒094-0004 紋別市本町3丁目1番31号  
TEL 0158-23-1232 FAX 0158-23-1243



<圏域内の市町村による取組事例>

在宅高齢者の実態把握事業	佐呂間町
<p>&lt;取組の背景&gt;</p> <p>地域包括支援センターの業務として総合相談業務がありますが、高齢者の中には普段生活しているうえで、「困っている事」「悩んでいる事」があったとしても「どこへ相談すればよいのかわからない」という方がいます。</p> <p>佐呂間町では、「佐呂間町避難行動要援護者個別避難計画書」への登録制度があり、高齢者等の方々には、この制度に登録していただくと、災害時の避難場所への支援や民生児童委員の協力を得て「ふれあい郵便」を配布など、その時に併せて安否確認を行っております。</p> <p>登録されている高齢者は、月に1回は「ふれあい郵便」を通し民生児童委員との関わりを持つことができますが、この制度への登録が十分に行われていない状況にあるため対象者の掘り起こしを行う。</p> <p>&lt;取組の内容&gt;</p> <p>対象者は、制度に登録をしていなく、普段から行政側（地域包括支援センター、ケアマネージャー、民生児童委員など）による、定期的な訪問などの関わりのないと思われる高齢者世帯（特に85歳以上）に対し、地域包括支援センター職員が訪問し、制度への登録を促し、悩みごとの相談等の対応を行っている。</p> <p>&lt;工夫している点&gt;</p> <p>対象者の把握は、佐呂間町が行っている「高齢者ハイヤー乗車料金助成制度」の対象者名簿を活用している。（制度の対象者が85歳以上のため）</p> <p>&lt;実感している効果&gt;</p> <p>地域包括支援センター職員が訪問し相談を受けた結果、介護保険制度や生活保護への受給、成年後見制度へ繋がったケースがあった。</p> <p style="text-align: right;">執筆協力：佐呂間町地域包括支援センター</p>	

<圏域内の市町村による取組事例>

滝上町高齢者配食サービス見守り事業	滝上町
<p>&lt;取組の背景&gt; 本町の人口は令和5年6月末時点で2,315人、内65歳以上が1,034人（高齢化率44.67%）要介護認定者数も277人（26.79%）と他の市町村と比較して高い数値となっている。 地域包括ケアシステムの構築を進めるうえで、システムを支える人材不足、地域における見守り体制の構築、十分な医療体制が確保されていないことが課題として挙げられる。 そのため、高齢者世帯への安否確認や低栄養状態の予防を目的とした上記事業を平成30年9月より開始した。</p> <p>&lt;取組の内容&gt; 委託業者が利用者世帯を訪問し、食事をお届けする際に直接、安否確認を行っている。利用者の安否が確認できない場合があれば、緊急連絡先（家族等へ）町担当者より連絡することとなっている。 また、費用については現在、利用者負担300円、町負担が600円となっている。</p> <p>&lt;工夫している点&gt; 毎月配達日を記載したカレンダーを配布している。高齢者が見やすいようカラーかつA3で大きめに印刷し、利用者が配達日を忘れることがないように工夫している。 利用者が急病などで入院した場合、利用者から休止の連絡がない場合もあるが、配食担当者、委託業者、担当ケアマネ等で情報を共有できる体制を構築している。</p> <p>&lt;実感している効果&gt; 高齢者世帯の見守り体制の構築、低栄養状態の予防だけでなく、定期的な訪問、緊急時にすぐにご家族へ連絡を取れる体制となっているため、遠方にご家族への安心感に繋がっている。</p> <p style="text-align: right;">執筆協力：滝上町</p>	

<圏域内の市町村による取組事例>

上土幌町高齢者 e スポーツ	上土幌町
<p>&lt;取組の背景&gt;</p> <p>本町は、人口4,777人、高齢化率35.38%（R2国勢調査）となっており、介護予防（認知症予防）に向けた取り組みとして、運動教室などの介護予防事業を実施しているが、希望者が多く、待機者も多いため、新たな介護予防事業の取り組みの1つとして、ICTを活用した新たな介護予防のプログラムを新設し、待機者の解消を図った。またデジタル技術を活用することで、予防事業の拡充と高齢者のデジタルリテラシー向上を図るなど、「知的活動」「運動」「人とのかかわり」を取り入れたプログラムを実施することで、健康維持と介護予防への意識啓発を図った。</p> <p>&lt;取組の内容&gt;</p> <p><b>内 容</b> 音や映像に合わせた <u>リズム体操</u> と <u>テレビゲーム</u> を実施 ※業務委託先の音楽健康指導士が進行役等を担っている</p> <p><b>対象者</b> テレビゲームや運動に興味がある60歳以上の方</p> <p><b>日 時</b> 毎週水曜日 2クラスに分けて概ね1時間程度実施</p> <p><b>利用料</b> 月額500円（R4年度は試用期間のため無料とした）</p> <p>&lt;工夫している点&gt;</p> <p>3ヶ月間を一区切りとしたことで、参加者が固定化されず、新たな希望者が参加出来ている（希望者については継続）</p> <p>&lt;実感している効果&gt;</p> <p>取組みの目的である「知的活動」「運動」「人とのかかわり」について、「認知症予防になる」「外に出る機会が増えた」など、参加者が効果を実感しており、健康維持と介護予防への意識啓発が図られている。</p> <p>介護予防事業への参加希望者が、空きを待つ間に本事業に参加することで、待機中から介護予防に取り組むことが出来ている。</p> <p style="text-align: right;">執筆協力：上土幌町</p> <p>&lt;取組の様子&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div>	

<圏域内の市町村による取組事例>

高齢者等福祉バス【農村部市街地送迎】	上士幌町
<p>&lt;取組の背景&gt; 上士幌町は人口約4,800人で高齢者が広く分散して生活しており、農村部に居住する高齢者が市街地に通院や買い物をされる場合、民間バス路線も無いことから交通の便が悪い。</p> <p>&lt;取組の内容&gt; 令和3年度まで定時定路線運行としていたが、実証実験を重ね、令和4年度からデマンド運行に移行し、運用している。 65歳以上の方、障がいをお持ちの方等で利用希望の方にタブレット端末1台を配布し、タブレット端末から乗車希望日時・目的地を選択することで乗合バスが家の近くに停車し、目的地まで送迎している。</p> <p>&lt;工夫している点&gt; 原則は利用者がタブレット端末を入力し、利用することとなっているが、操作が苦手な方もいることから、タブレット端末を操作できない方については役場へ電話をすることで職員が代理でタブレット操作をし、予約をするなどしている。</p> <p>&lt;実感している効果&gt; 定時定路線運行では利用者がいなくても時刻表のとおり停留所間にバスを走行させる必要があるが、デマンド運行となり、利用がある時のみ走行させることで効果的に利便性を向上させることができている。自宅前から、利用希望時間の30分前までの予約で乗車できることから高齢者の外出促進につながっている。 ※令和4年度において運行日数 208日のうち、利用日数は167日であった。</p> <p style="text-align: right;">執筆協力：上士幌町</p>	



<圏域内の市町村による取組事例>

多職種連携情報共有システム（バイタルリンク）	上士幌町
<p>&lt;取組の背景&gt;</p> <p>町内の医療・介護体制としては、2カ所の医療機関と介護サービス事業を運営する社会福祉法人及び社会医療法人による施設サービスと在宅サービスが提供されている。</p> <p>地域包括支援センターは直営1カ所で、地域ケア会議等を通じて関係機関との連携を持ち地域ケアシステム構築に向けて取り組んでいるが、ケアマネジャーからの連絡や担当者間での情報共有については、電話連絡や紙ベースでの伝達手段により、連絡調整に時間を要していた。</p> <p>&lt;取組の内容&gt;</p> <p>医療と介護を必要とする要介護（支援）者の在宅生活を支える多職種間の連携ツールにICT化を導入し、リアルタイムで正確な情報共有に向けて多職種連携情報共有システム（バイタルリンク）の運用を開始した。</p> <p>&lt;工夫している点&gt;</p> <p>ICT活用を推進するため、町が購入したタブレット端末を医療・介護の関係事業所に貸与し、事業の普及を図った。</p> <p>ICT活用の評価や課題、事例検討を医療・介護の関係者研修（ワークショップ）として開催し、情報連携の取扱いや重要性について確認している。</p> <p>&lt;実感している効果&gt;</p> <p>関係者がICT運用に慣れていくことについては継続した課題であるが、介護職からの報告と医療職からの指示など、画像等の貼付けも可能であり、その経過を他の関係者も確認することができるなど、情報共有が図りやすい。</p> <p>また、個別に連絡が必要であった関係者への連絡調整の労力が省かれるなどの業務改善の効果がある。</p> <p style="text-align: right;">執筆協力：上士幌町</p>	

<圏域内の市町村による取組事例>

お元気コール	音更町
--------	-----

<取組の背景>

一人暮らしの高齢者増加にともない、孤独感や疎外感の緩和と安否確認のために、約30年前に開始された事業。

町内在住の70歳以上の一人暮らしで、介護サービスを利用していない高齢者を対象に、月に一度電話をかけて話し相手となり、相談や安否確認を行っている。数回電話が繋がらない場合は緊急連絡先に連絡を取り、場合によっては自宅を訪問し、安否確認を行っている。

<取組の内容>

町内在住の70歳以上の一人暮らしで、介護サービスを利用していない高齢者を対象に、月に一度電話をかけて話し相手となり、相談や安否確認を行っている。数回電話が繋がらない場合は緊急連絡先に連絡を取り、場合によっては自宅を訪問し、安否確認を行っている。

<工夫している点>

現在の利用者数は65名で、そのうち13名を帯広大谷短期大学社会福祉科介護福祉専攻の2年生に、ゼミの授業の一環としてお元気コールを担当してもらっている。年に数回、短大の学生と高齢者福祉課の担当職員とで意見交換の場を設け、学生へのサポートも行いながら、事業に協力を得ている。

さらに、短大の学生による電話を越えたつながりとして、定期でお便りを発行したり、クリスマス時期には手作りのプレゼントを作成し、自宅に訪問して手渡ししている。高齢者にとっては若い世代との交流の機会となり、福祉を志す学生にとっては関わり方の学びの場となっている。

<実感している効果>

月に一度の電話でのやり取りではあるが、それを楽しみにしたり、心のよりどころにしている方も多く、感謝の声も寄せられている。また、話し相手になるだけでなく、健康状態や暮らしぶりの把握にも役立っている。

こうした地域の学生を交えた取組みは珍しく、今年1月、NHK「ほっとニュースぐるっと道東！」の介護・医療のコーナーで紹介され、その反響の大きさから、全道、さらに全国放送もされた。

執筆協力：音更町

<取組の様子>

